

主題：キリストのからだの実際

メッセージ 4

十字架の経験を通してキリストのからだの実際に生きる

聖書： I コリント 12:12-13. マタイ 16:18, 23-24. ガラテヤ 2:20. エペソ 2:15. 4:16

I. キリストのからだは団体のキリスト、からだ・キリストです—— I コリント 12:12-13 :

- A. I コリント第 12 章 12 節で「キリスト」は個人のキリストではなく、団体のキリストを指しています。
- B. 団体のキリストは、かしらとしてのキリストご自身と、彼の肢体としてのすべての信者たちを伴う彼のからだとしての召会から成っています——エペソ 1:22-23. 5:30.
- C. キリストにあるすべての信者は有機的に彼に結合され、彼の命と要素で構成され、こうして彼のからだ、有機体となって彼を表現します——ローマ 12:4-5. コロサイ 3:4, 11.
- D. キリストはかしらとからだの両方です。ご自身にあるキリストはかしらであり、わたしたちすべての中に構成し込まれたキリストはからだです—— 1:18 前半. I コリント 12:12. エペソ 1:22.
- E. 聖書はキリストと召会をひとりの奥義的なキリストと考えています——使徒 9:4-5 :
 1. キリストはこの奥義的なキリストのかしらであり、召会はこの奥義的なキリストのからだです。両者は結合されてひとりの奥義的なキリストとなりました——エペソ 5:32.
 2. すべての時のすべての空間におけるすべての救われた人が加えられたものが、この奥義的なキリストのからだとなります—— 30 節. I コリント 12:12-27.
- F. キリストの唯一の奥義的なからだは、神が彼の行政を遂行する手段です——ローマ 12:4-5. エペソ 1:22-23. I コリント 12:12-13, 25, 27. 11:29 :
 1. キリストの奥義的なからだを離れて、神には彼の行政を遂行する道はありません。
 2. キリストの奥義的なからだは、地上でのキリストの行動のためです。かしらは今や、からだを通して神の行政を働かせています—— 3 節. 12:12.
- G. キリストのからだの啓示は、わたしたちの霊的生活に大改革を起こします——使徒 9:1-18. 22:6-16. 26:12-19 :
 1. この啓示は、わたしたち自身の何ものでもなく、わたしたちの中のキリストだけが、わたしたちをからだの肢体に構成することを見させます——コロサイ 1:27. 3:10-11.
 2. わたしたちはからだのビジョンの下で碎かれ、からだの実際の中にいる唯一の道は碎かれることであることを認識します——使徒 9:3-6.

II. からだは自己に相對します。からだの敵は自己です——コロサイ 2:18-19, 23 :

- A. 自己とは神から独立した魂です。自己は独立した「わたし」です。
- B. 自己は魂プラス、サタン的な思い、サタン的な思想です。ですから、自己はサタンの具体化です——マタイ 16:23-24.

C. からだのビジョンを見てからだを実行することの妨げは自己です——コロサイ 2:18-19, 23:

1. からだに対する最大の問題、最大の妨害は自己です。自己は真の分裂、真の分派です——マタイ 16:18, 21-26。
2. わたしたちは自己を持つとき、からだを持ちません。からだを持つとき、自己を持ちません—— 18, 24 節。
3. からだの中で建造されようとするなら、自己は罪定めされ、否定され、拒絶され、捨てられなければなりません——ルカ 9:23-24。
4. 自己が捨てられてはじめて、わたしたちはからだの実際を持ち、からだの真の肢体となります——マタイ 16:24. ガラテヤ 2:20. エペソ 4:16。

D. からだのブレンディングは、自己が十字架につけられることを要求します—— I コリント 12:24。

E. 自分を否んで自分をからだと同一化するなら、わたしたちが生きる生活は完全にからだの生活であり、主は彼のからだの表現を得ます——マタイ 16:24. I コリント 12:27. コロサイ 1:18 前半. 3:15。

III. わたしたちは十字架のビジョンを見て、十字架の意義を理解する必要があります——マタイ 27:33-56. コロサイ 1:20-22. 2:11-15. ガラテヤ 2:20. 3:1. 6:14:

A. 神は彼のエコノミーの中で、一人のパーソン（すべてを含むキリスト）と一つの道（十字架）を与えています—— I コリント 2:2. ペリピ 2:5-11. ガラテヤ 6:14。

B. 十字架は神の行政と彼の道の中心であり、彼のエコノミーを完成するためです——コロサイ 1:20. 2:14-15。

C. 新約では、十字架の主要な意義は苦しむことではなく、終わらされることです——ローマ 6:6. II コリント 5:14. ガラテヤ 2:20. 6:14。

D. 霊的に前進して正常な召会生活を持つためには、十字架を経験する必要があります——マタイ 10:38. 16:24. ルカ 14:27. コロサイ 3:12-15。

E. わたしたちは神の建造の中心である祭壇に来るとき、特別な方法で十字架を経験します——エゼキエル 43:13-27。

F. わたしたちが主との交わりの中で最終的にもたらされる点とは、わたしたちが明確な方法で十字架に触れ、神がもはやわたしたちを天然の人の中に生きさせないことを認識するという点です。これはわたしたちに大きな突破を持たせ、十字架に絶対的に服従させます——ガラテヤ 2:20. 5:24. 6:14。

IV. 十字架はわたしたちをからだに導き、からだをもって究極的に完成し、からだの範囲の中で活動します——エペソ 2:15. 4:16. I コリント 1:18. 12:12-13, 27:

A. 十字架の認識はわたしたちを、キリストのからだの認識にもたらしめます——ローマ 6:6. 8:13. 12:4-5. I コリント 1:18, 23. 2:1-2. 12:12-27。

B. キリストのからだは十字架が働く領域です——コロサイ 1:20. 3:15。

C. 神がわたしたちを対処することはすべて、わたしたちをからだのために備えることを目指してきました。彼がわたしたちの中で働くことはすべて、取り除くことの過程であり、それはわたしたちがからだの機能する肢体となることができるためです——ローマ 6:6. 8:13. 12:4-8。

D. キリストのからだの実際の中に入ってこの実際の中に生きようとするなら、十字架を経験し、主イエスと一にならなければなりません。彼は「非常に高価な一つの真珠を見つけ」、十字架に行って、「持っているものをすべて売り払い、それを買った」——マタイ 13:45-46. 16:21, 24. 17:22-23. 20:18-19. 26:1-27:52。

©2006 *Living Stream Ministry*